

2025年度 SSH特設科目「SSII」

【第23回】 生徒探究発表会リハーサル

2026年2月10日（火）



専門的課題研究のイメージ

STEP1

研究テーマを決める

STEP2

リサーチクエスチョンを導く

STEP3

仮説を立てる

STEP4

適切な研究方法を選ぶ

中間目標

研究計画書を作成する

STEP5

調査・実験を実施する

STEP6

結果をまとめて考察し、結論を導く

STEP7

研究内容をまとめ、発表する

より高次のRQへ

高1
中間発表

探究
Day

生徒探究
発表会

step1

振り返り

step7

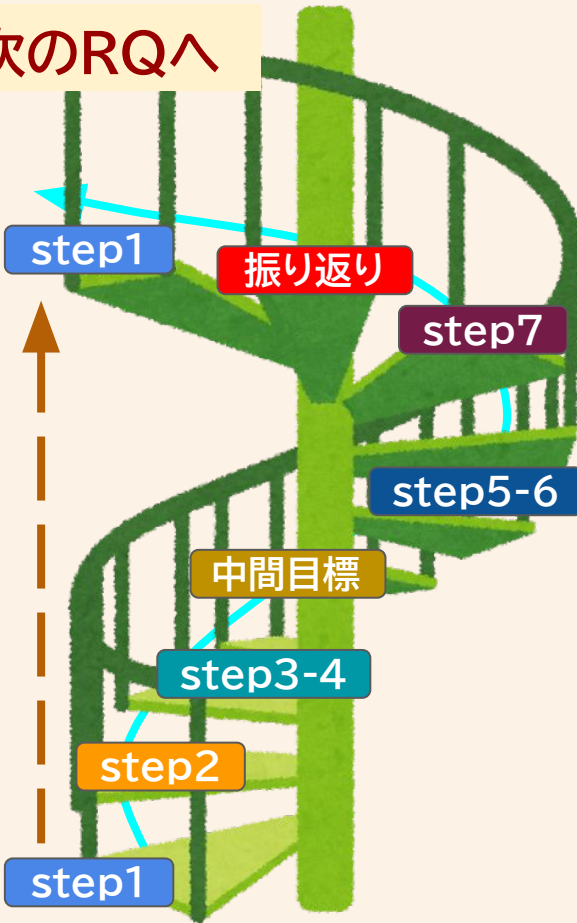
step5-6

中間目標

step3-4

step2

step1



「SS II」の評価

※発表の評価対象には発表資料(ポスター、スライド、研究要綱など)も含まれます。

知識・技能	専門的課題研究計画書兼報告書 探究DAY専門的課題研究中間発表(11月) 専門的課題研究成果発表(2月)
思考力・判断力・表現力	専門的課題研究計画書兼報告書 探究DAY専門的課題研究中間発表(11月) 専門的課題研究成果発表(2月)
主体的に学習する態度	探究ノート(通年) 探究DAY専門的課題研究中間発表(11月) 専門的課題研究成果発表(2月) 学年末の振り返り

考察の進め方（課題研究メソッド 第4章）

【目的・概要】

一年間の研究成果を**他の生徒や卒業生、保護者の方々、先生方などに向けて発表**します。
探究Dayの成果と課題を踏まえて、
さらに調査・考察した内容を加えて発表用ポスターにまとめます。
一年間の成果をしっかりと伝えられるように、興味を引き、
分かりやすい発表を行いましょう。

発表日時：2月14日（土）9：30～12：30

発表形態：対面でのポスター発表

発表時間：「発表6分＋質疑6分」 発表回数：3回

- 全体では「発表6分＋質疑6分」を6サイクル実施します。
- ポスター番号を偶数・奇数に分け、3回ずつ発表時間を設けます。
- その後、コアタイムセッションを設けて自由に発表や質問対応できる時間を**20分**設けています。
- 自分たちの発表以外の時間帯は他チームの発表を聞いて相互評価をします。



評価項目について

観点／SSコンピテンシー	レベル4（卓越している）	レベル3（十分できている）	レベル2（概ねできている）	レベル1（改善を要する）
構成の論理的一貫性 批判的思考力 表現力	研究の目的・仮説・方法・結果・考察の流れが明確で、全ての要素が論理的に固く結びつき、聞き手の思考を導くような一貫したストーリーとして構成されている。	研究の目的から結果・考察までの流れは明確に構成されているが、一部に論理の繋がりが弱い部分があり、聞き手に解釈を委ねる箇所が見られる。	研究の目的から結果・考察までの研究発表に必要な要素は含まれているが、それらの関係性の説明が不足しており、構成が断片的になっている。	発表の中に研究の各要素は点-in-存在しているが、それらを繋ぐ論理的な構成がなされておらず、研究の全体像を掴むことが難しい。
発表の明瞭性 表現力	聞き手の知識レベルや関心を常に意識し、言葉選び、声の抑揚、視線の配り方まで工夫を凝らし、対話的で引き込まれる発表を行っている。	全体の流れは分かりやすく説明できているが、表現が単調で、聞き手の理解度を確認したり、関心を引きつけたりするような工夫が不足している。	発表内容を準備した原稿に沿って説明しているが、聞き手の存在が意識されておらず、一方的な情報伝達になっている。	準備した資料を読むことに終始しており、声量不足や早口なども相まって、発表内容が聞き手にほとんど伝わっていない。
質疑応答における対話力 批判的思考力 協働する力	質問の意図を的確に汲み取り、自身の研究を客観的に捉え直した上で、根拠に基づいて誠実に応答し、対話を通じて新たな知見を得ようとしている。	質問内容を理解し、それに対して自身の考えを答えているが、単なる意見の表明に留まり、研究の客観的なデータとの関連付けが弱い。	質問の意図を正確に理解できず、回答が質問内容とずれてしまっている。また、研究内容と結びつきが弱い一般的な意見での回答に終始している。	質問に対して感情的に応答してしまっている。または「分かりません」という回答に終始し、対話を深めようとする姿勢が見られない。

生徒探究発表会 前日準備について

集合時間：2月13日（金）16：00

集合場所：大体育館

仕事内容：

- パーテーションを所定の場所から大体育館へ運搬する。
- パーテーションにポスター番号ラベルを貼る。
- パーテーションに自分のチームのポスターを貼る。
- 体育館入口両脇に、アンケート用紙、コメント用紙、回収箱、筆記具を置くための長机を一つずつ設置する。
- 体育館前方に椅子を設置する。
- 体育館ステージに、「生徒探究発表会」の看板を吊るす。
- ステージの上に演題を設置する。
- ステージに階段を設置する。

＊準備については別途classroomで連絡します。



ポスター確認・補強

【タイトル確認】

Classroomに配信する「生徒探究発表会タイトル一覧」から各チームのタイトルを探して、誤りがないか確認してください。

もし訂正が必要な場合は指導教員にお知らせください。

チーム番号を記入してください。

【ポスター補強】

木製のパーテーションに画鋲で貼り付けることを想定して、周囲(右図の**赤い部分**)を養生テープで補強します。4隅は2枚重ねるとしっかり固定されます。

研究テーマタイトル
芝浦工業大学柏高等学校 ○年 ○○○○

【要旨】

1. 研究題目

2. 目的・意義

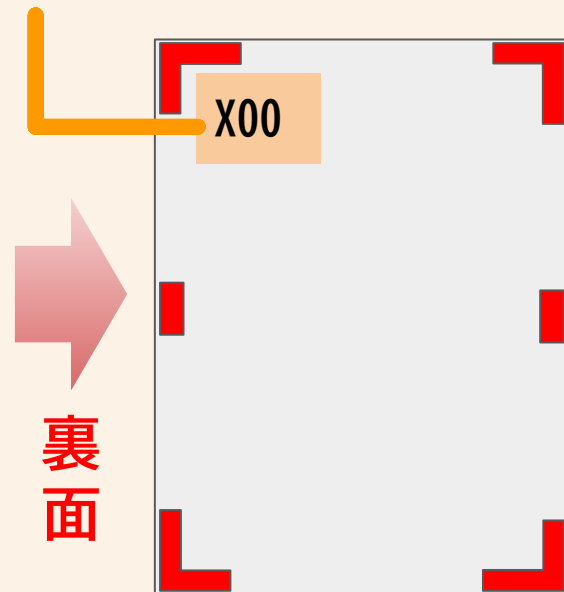
3. 研究方法

4. 結果・考察

5. 結論

6. 今後の展望

7. 参考文献・参考文献



リハーサル

教室内の3～4か所に分かれて、
指定したチーム同士で

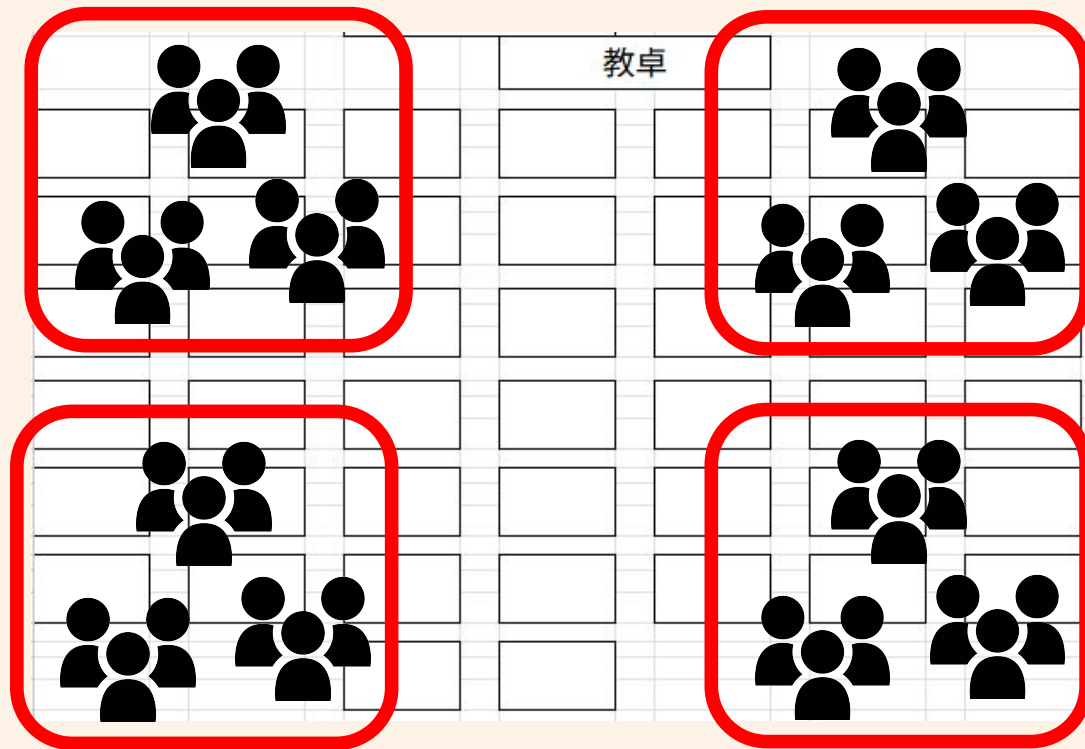
「発表6分・質疑応答6分」

を回していきます。

発表順はチーム番号順とします。

タイムキーパーが各グループごとに
時間を計ってください。

全チーム発表が終わったらお互いに
良い点・改善点を伝え合い、
発表内容をブラッシュアップ
しましょう。



④発表技術の課題（話し方と姿勢）

【課題整理】

1. **声量**：声量が小さく聞き取りにくいとの意見を多く頂戴した。
2. **視線と態度**：視線が原稿やポスターに終始固定され、聴衆とのアイコンタクトが取れていない発表も少なくない。

【改善提案】

1. **発声練習**：発表する環境を意識した声量で、発声練習をする。
2. **リハーサルの徹底**：発表時間を厳守し、原稿を見ずに話す練習を徹底。視線は聴衆に返し、堂々と話す姿勢を身につける。

⑤公的マナーの課題（場の意識と振る舞い）

【 課題整理 】

1. **聴衆側のマナー**：聴衆が周囲の発表を妨げる行為（無駄な囃し立てなど）も指摘されている。
2. **公的態度**：開会式・閉会式において、起立せず地べたに座り込む、スマホ操作、私語などの規律を欠く行為も見られた。

【 改善提案 】

1. **マナーの徹底**：公衆の場でのマナーとエチケット、聴衆としての敬意を徹底する。
2. **場の意識**：話者に視線を送るなど当然の礼儀をわきまえる。

想定問答集の作成

生徒探究発表会用 想定問答集

項目はプルダウンで選べるようになっています。足りない場合は行を追加してください。

項目	想定される質問	回答
1. 研究背景		
1. 研究背景		
1. 研究背景		
2. 目的・意義		
2. 目的・意義		
2. 目的・意義		
3. 研究方法		
3. 研究方法		
3. 研究方法		
3. 研究方法		
3. 研究方法		
4. 結果		
4. 結果		
4. 結果		
4. 結果		
4. 結果		
5. 考察・結論		
5. 考察・結論		
5. 考察・結論		
5. 考察・結論		
5. 考察・結論		
6. 今後の展望		
6. 今後の展望		
6. 今後の展望		
7. 引用文献・...		
7. 引用文献・...		

6分間の質疑応答で、みなさんの課題研究を聴衆に理解してもらい、建設的な議論をするために想定問答集を作ります。

ポスターの内容を項目ごとにチェックしながら聞かれそうな質問を書き出していきます。

聴衆の方々は、**発表する分野の知識**や**みなさんが課題研究に取り組んできた経緯**について知らない人が大半です。些細な質問から突っ込まれたら困りそうな質問まで洗いざらい書き出しましょう。

質問例

- 専門用語の**意味**や**定義**の確認
- 研究方法の深掘り(**なぜその方法?**)
- 結果考察の深掘り(**なぜそういえる?**)